



国際交流基金

<http://www.jpf.go.jp/>

PRESS RELEASE

August 17 2006 No.174

中国ベストセラー作家 余華氏 来日

今、最も注目を集める中国のベストセラー作家で、映画『生きる』の原作者、余華（ユイ・ホア）さんが、8月18日から9月1日まで国際交流基金の招きで初来日します。

余華さんは、映画『生きる』（チャン・イーモウ監督/コン・リー主演）の原作者。最新作『兄弟』は中国で大きな反響を巻き起こしています。国際交流基金では「現代中国を“生きる”作家～余華さんに聞く」と題し、『生きる』の原作小説と映画の違いや日本への印象を語っていただく対談を開催します。モデレーターには中国現代文学・映画研究の第一人者、藤井省三教授をお迎えします。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしております。

『現代中国を“生きる”作家～余華さんに聞く』

日時 2006年8月30日（水）18：30開場、19：00開始
会場 国際交流基金 国際会議場（アーク森ビル20F）

入場は無料ですが、事前のお申し込みが必要です。

申し込み期限は8月28日（月）17：30まで。先着順とさせていただきます。

日本語 - 中国語逐語通訳

21：00頃終了予定、その後に簡単な懇親会を予定しています。

http://www.jpf.go.jp/j/culture_j/news/0608/08-05.html

余華 ユイ・ホア

1960年杭州生まれ。小説家。歯科医を経た後、83年より創作活動開始。『十八歳の旅立ち』が出世作。前衛的な作風により先鋒派と呼ばれる。映画にもなった『生きる』（飯塚容訳/角川書店）は文革の中で翻弄されながらも、必死で生き抜く庶民の物語を叙情的に描いて評判となった。今回の初来日では、東京のほか鎌倉、北海道、京都を訪問する予定。

藤井省三 ふじい・しょうぞう

1952年東京生まれ。東京大学文学部教授。中国・台湾・香港の現代文学を専攻。著書に『魯迅事典』『中国映画 百年を描く、百年を読む』『現代中国文化探検』『中国見聞一五〇年』『20世紀の中国文学』など。現在、4カ年計画で「東アジアと村上春樹」の国際共同研究を行っている。

お問合せ 国際交流基金 文化事業部 文化企画課

電話：03-5562-3541 FAX：03-5562-3505

電子メール：Tomomi_Kimura@jpf.go.jp / Haruko_Machida@jpf.go.jp

対談参加申込み/木村 智美 取材申込み・詳細問合せ/町田 春子

「地球を、開けよう。」

情報センター
〒107-6021 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 21 階
Tel:03-5562-3538 Fax:03-5562-3534